

正の数, 負の数 (1)

正の数と負の数

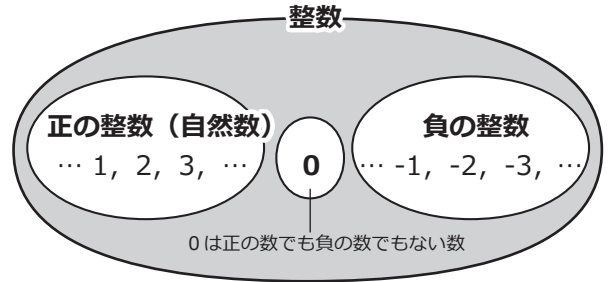
0を基準にして数を考えるとき, 0よりも大きい数を**正の数**といいます。

正の数には**正の符号** ^{プラス} **+** を付けて表すことがあります。

0よりも小さい数のことを**負の数**といい, **負の符号** ^{マイナス} **-** を付けて表します。

自然数

正の整数のことを**自然数**ということがあります。



【1】 次の数について, 正の符号または負の符号をつけて表しなさい。

(1) 0よりも4大きな数

(2) 0よりも0.7大きな数

(3) 0よりも3小さな数

(4) 0よりも3.9小さな数

答え (1) _____ (2) _____ (3) _____ (4) _____

【2】 次の数の中から, 負の数をすべて答えなさい。

+2 -5 +11 0 +2.5 -3.2 $-\frac{1}{2}$ $+\frac{2}{3}$

答え _____

【3】 基準となる地点Aから10m北の地点のことを+10mと表すとき, 次の(1), (2)はそれぞれどの地点のことを表しますか。

(1) +8m

(2) -11m

答え (1) _____ (2) _____

【4】 負の小数, 負の分数を, それぞれ一つずつかきなさい。

答え 負の小数 _____

負の分数 _____

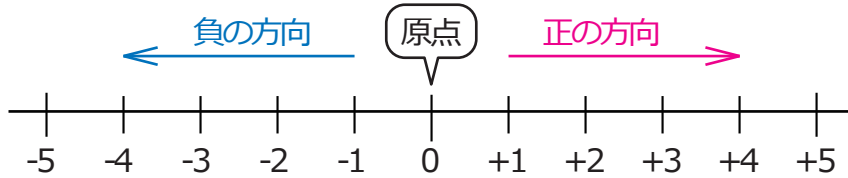
正の数, 負の数 (2)

数直線

数直線では, 右の方向を**正の方向**, 左の方向を**負の方向**といいます。

数直線上で0に対応した点のことを, **原点**といいます。

原点よりも右側にあるのが正の数, 左側にあるのが負の数です。



数の大小

数の大小は, 不等号を用いて, 次のように表すことができます。

$$-2 < +7 \quad +7 > -2$$

絶対値

数直線上で, ある数を表す点から原点(0)までの距離のことを**絶対値**といいます。

【1】 次の数の絶対値を答えなさい。

(1) +3

(2) -3

(3) -3.4

答え (1) (2) (3)

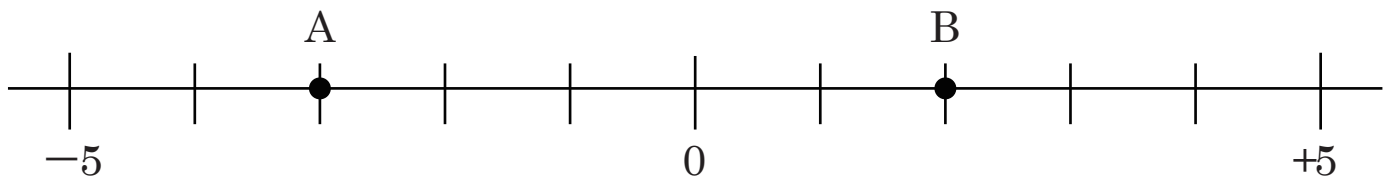
【2】 次の各組の数の大小を, 不等号を使って表しなさい。

(1) +3 +7

(2) -2 +5

(3) -2 -9

【3】 次の数直線で, 点A, Bに対応する数を答えなさい。



答え 点A 点B

正の数, 負の数 (3)

【1】基準となる地点 A から西へ 7m の地点のことを +7m と表すとき, 次の(1), (2)はそれぞれどの地点のことを表しますか。

(1) +13m

(2) -8.8m

答え (1) _____

(2) _____

【2】次の数の絶対値を答えなさい。

(1) +8

(2) +2.4

(3) -11

(4) $-\frac{3}{5}$

答え (1) _____

(2) _____

(3) _____

(4) _____

【3】次の条件にあてはまる数をすべて答えなさい。

(1) 絶対値が 7 である数

答え _____

(2) +5.5 よりも小さな自然数

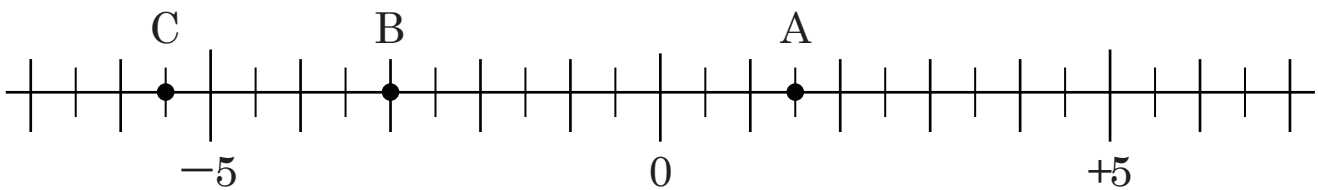
答え _____

(3) 絶対値が $\frac{5}{2}$ よりも小さい整数

答え _____

【4】次の数直線で, 点 A, B, C に対応する数を, 整数または小数で答えなさい。

また, ①, ②, ③の数に対応する点を, 数直線上に表しなさい。



① +4

② +5.5

③ -0.5

答え A _____

B _____

C _____

正の数, 負の数 (4)

【1】山の標高を、高尾山(東京都)の標高 599m を基準にして、それよりも標高が高い時は正の符号を、標高が低い時は負の符号を使って表すことにします。

次の山の標高を、符号を使って表しなさい。

(1) 大山(神奈川県) 1252m

(2) 宝登山(埼玉県) 497m

答え (1) _____ (2) _____

【2】下の7つの数について、次の問いに答えなさい。

$$+3, 0, -2.5, +6.2, +\frac{1}{3}, -\frac{1}{5}, +\frac{5}{2}$$

(1) 自然数を答えなさい。

(2) 絶対値が等しい数はどれとどれですか。また、その絶対値を小数で答えなさい。

(3) 絶対値がもっとも大きい数を答えなさい。

答え (1) _____ (2) _____ (3) _____

【3】次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

(1) +3, -6

(2) -9, -4

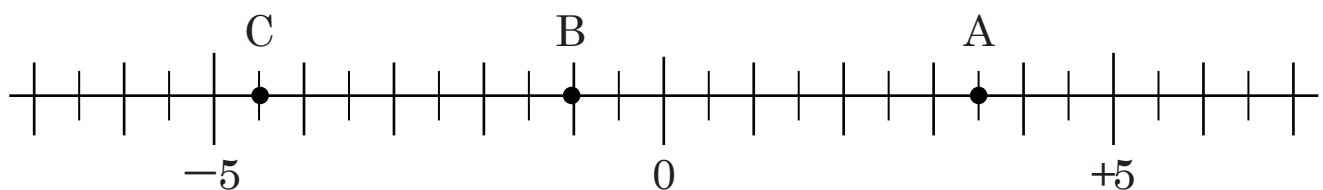
(3) +1.7, -3.5, -2.2

(4) $-\frac{1}{4}, -\frac{1}{3}, -\frac{1}{2}$

答え(1) _____ (2) _____ (3) _____ (4) _____

【4】次の数直線で、点A, B, Cに対応する数を、整数または小数で答えなさい。

また、①, ②, ③の数に対応する点を、数直線上に表しなさい。



① +6 ② $+\frac{5}{2}$ ③ -2.5

答え A _____ B _____ C _____

正の数, 負の数 (5)

【1】 次の問いに答えなさい。

- (1) 絶対値が 4.1 よりも小さな整数は何個ありますか。
- (2) $-\frac{8}{3}$ よりも大きくて, 1.3 よりも小さい整数をすべて答えなさい。
- (3) -1.5 よりも小さな整数のうち, もっとも大きな数を答えなさい。

答え (1) (2) (3)

【2】 下の 7 つの数について, 次の問いに答えなさい。

$$+4, -2.7, 0.5, -5.4, +\frac{3}{2}, -\frac{1}{4}, +\frac{10}{3}$$

- (1) 絶対値がもっとも大きい数を答えなさい。
- (2) 絶対値が 2 より小さい数をすべて答えなさい。
- (3) 数直線上で, 0 にもっとも近い数を答えなさい。

答え (1) (2) (3)

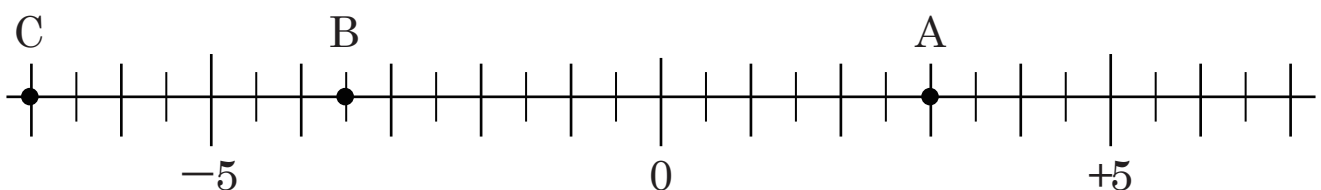
【3】 次の各組の数の大小を, 不等号を使って表しなさい。

- | | |
|------------------------|--|
| (1) $-9, -5$ | (2) $+\frac{5}{3}, -2.7$ |
| (3) $-2.5, -4.9, +3.6$ | (4) $-\frac{6}{7}, -\frac{8}{3}, -1.5$ |

答え(1) (2) (3) (4)

【4】 次の数直線で, 点 A, B, C に対応する数を, 整数または小数で答えなさい。

また, ①, ②, ③の数に対応する点を, 数直線上に表しなさい。



- ① +4.5 ② $+\frac{1}{2}$ ③ $-\frac{9}{2}$

答え A B C
